

成人市中肺炎の重症度別患者数等

集計方法と定義

・成人(20歳以上)の肺炎患者について重症度別に患者数、平均在院日数、平均年齢を集計。

・入院契機病名および最も医療資源を投入した傷病名が肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(DPC:040080相当)でかつICD10コードJ13~J18で始まるもの。

・病院外で発症した市中肺炎に限る。

・肺炎の重症度分類(A-DROPスコア)

- ① 男性 \geq 70歳、女性 \geq 75歳
- ② BUN \geq 21mg/dl以上または脱水あり
- ③ SpO₂ \leq 90%
- ④ 意識障害あり
- ⑤ 収縮期血圧 90mmHg以下

***重症度分類は A-DROP スコアの該当項目数となります。**

軽症:0点、中等症:1~2点、重症:3点、超重症:4~5点(ショックがあれば1項目でも超重症とする)、不明:分類項目が1つでも不明な場合

	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	51	10.18	52.91
中等症	141	15.64	76.32
重症	59	24.00	82.36
超重症	13	21.38	82.09
不明	-	-	-

解説

・患者数10未満の症例は-となっております。軽症(0点)の場合は外来での治療が基本となりますが、患者さんの状態によって入院加療となる場合があります。中等症(1~2点)では141件 該当患者数の53.4%となっております。重症度が増すごとに平均在院日数、平均年齢が高くなる傾向を示しております。